

(人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

このたび以下の研究を実施いたします。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】薬物使用障害に対する個人心理療法適用患者の臨床的特徴とその効果に関する研究

【研究責任者】国立精神・神経医療研究センター病院 臨床心理部 臨床心理室 今村扶美

【本研究の目的及び意義】薬物使用障害は、通常、集団で行う治療プログラム(SMARPP)を主体に治療が進められますが、様々な事情により、集団プログラムへの参加が難しい方が一定数みられます。そうした患者様に対しては、医師の診察あるいは個人心理療法(個別 SMARPP)が提供されていますが、集団参加が難しい患者様の臨床的特徴や背景、実施された心理療法の内容やその効果などは十分明らかにされていません。本研究は、薬物依存症専門外来に通院された患者様の診療録を参照し、集団プログラム(SMARPP)に参加された方、SMARPPには参加されずに診察および個人心理療法が適用された方、それぞれの臨床上的特徴および心理療法の内容等を検討・分析することを目的としています。本研究の成果により、薬物使用障害の治療において、個別対応が求められる方の特性や介入方法の具体例が示され、個々の特性に応じた多様な支援が拡充されることが期待されます。

【本研究の施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

①2017年4月1日より2021年6月30日までの間に、国立精神・神経医療研究センター病院の薬物依存症専門外来の初診を受け、当院にて治療継続となった方、②2019年4月1日より2021年6月30日までの間に、国立精神・神経医療研究センター病院の薬物依存症専門外来の初診を受け、当院にて治療継続となり、個別心理療法(個別 SMARPP)が導入された方

利用する試料・情報等

情報：①基礎的診療情報(年齢、性別、診断、使用薬物、薬物依存症の重症度、等)、②個人心理療法の回数や内容、個人心理療法開始時および終了時に臨床評価として実施される心理評価尺度得点(SRRS、POMS2、CES-D、STAI等)

研究期間

2020年11月30日より2022年3月31日まで

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院

所属 臨床心理部 臨床心理室 氏名 今村扶美

電話番号 042-341-2712(内線 7290) e-mail: fimamura@ncnp.go.jp

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局 e-mail: ml\_rinrijimu@ncnp.go.jp